

平成 29 年度

北近畿地域連携センター研究助成（教員プロジェクト）

採択課題 研究成果報告書

研究課題名：クルーズ船寄港による商店街振興への可能性に関する研究

－商店街周辺地域住民の受け入れ意識の規定因分析－

研究代表者（申請者）：地域経営学部 助教 張 明軍

共同研究者：地域経営学部 特任教授 篠原正人

研究経費：210,000 円

研究成果の概要：

本調査は、舞鶴港クルーズ寄港をきっかけに、西舞鶴商店街周辺地域住民意識（①対商店街、②クルーズ寄港による観光効果）を把握するために、アンケート調査を実施し、西舞鶴商店街周辺地域住民の意識および、住民意識の形成に影響を与える要因を明らかにしたものである。

調査による主な成果として、①西舞鶴商店街周辺地域住民の属性及び商店街の利用頻度②西舞鶴商店街の課題への認知③異文化受容意識、④居住環境、家計、友人関係、近所付き合いに対する評価⑤クルーズ寄港によるインパクトに対する意識⑥地域コミュニティへの参加⑦外国人観光客への歓迎意識。以上を把握することができた。

本調査で得られた成果は今後、住民意識を考慮する上での受入体制づくりに繋げていくため、本研究はクルーズ船の誘致、受入活動の推進、商店街振興などにあたり、基礎的な研究に位置づけ、クルーズ旅客受入体制づくりに貢献し、重要な意義を持つと考える。

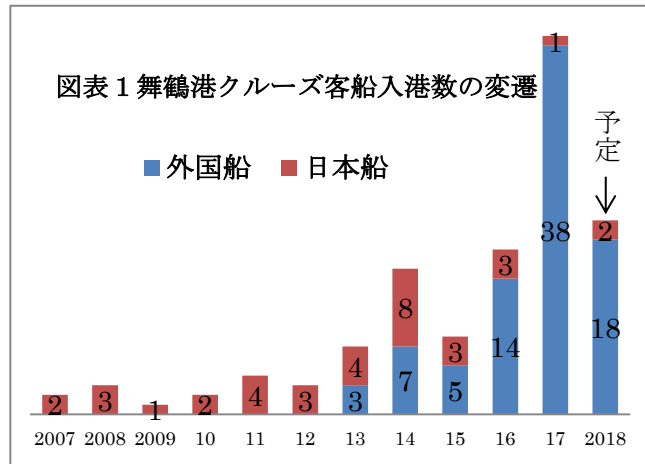
1. 研究開始当初の背景

①クルーズ船の寄港

日本全国において、2016年のクルーズ船の寄港回数は前年比38.8%増の2018回（外国船社1,444回、日本船社574回）で、過去最高記録となった。今後、団塊世代の大量退職に伴うマーケットの拡大、訪日クルーズ旅客の急増等により、入港すれば多大な経済効果をもたらすことから、地域経済の活性化策として、注目されている。

京都府舞鶴港において、外国クルーズ船の入港が増加しており、特に今年2017年は昨年

の約2倍の入港数（39回）となった（図表1）。クルーズ客船の増加に合わせて、入港歓迎式典の開催、日本文化体験の実施、地元の特産品販売、また外国人観光客への歓迎行事として、地元高校生による観光案内、市民による着物着付け体験や琴の演奏などの多様な“おもてなし”が舞鶴港で実施され、受入れ体制づくりを充実するため、地元側が熱心に取り込んでいる。次年以降のクルーズ船入港数をさらに増加する見込みであったが、2018年度舞鶴港へのクルーズ客船寄港予定が20回となり、前年度の39回より半減した。2017年32回寄港



出所：舞鶴市ホームページを参考にし、筆者作成

のコスタクルーズ社の「コスタ・ネオロマンチカ」が、2018年度には11回寄港予定となった。しかし、新規3社の欧米クルーズ会社の初寄港、及びクルーズ誘致関係者による複数のクルーズ社へ寄港誘致活動の継続により、受け入り側の体制づくりは引く続き、重要な課題であると考えられる。

②商店街の現状

日本全国の地方都市商店街では人口減少やモータリゼーションをはじめとする社会的要因、並びに店主の高齢化などの内部的な課題により、賑わいを喪失しており、商業の活性化が課題となっている。西舞鶴商店街エリアは城下町らしい歴史的な地域資源、祭や地域の伝統文化が継続され、商業が集積している。しかし、来街者の減少による売上の減少、店主の高齢化、後継者不足などによる空き店舗・空き地の増加といった衰退が見られる（図表2）。近年、商店街エリアを中心とする多様なまちづくり活動が行われ、特に、クル

	店舗数	空き店舗数	%
新世界商店街	48	15	31.3%
マナイ商店街	65	27	41.5%
中央商店会	32	3	9.4%
平野商店街	34	9	26.5%
合計	179	54	30.2%

図表2. 西舞鶴市4商店街空き店舗情報

ーズ寄港による多国籍旅客が訪れ、クルーズキチャッタマルシェ等のおもてなしイベントが開催された。クルーズ寄港による商店街の活性化を目指し、多様な有志団体がクルーズの寄港に合わせて、西舞鶴商店街を拠点にして、受入活動に取り込んでいる。

③先行研究

クルーズ船の寄港による受入体制づくりは、船舶に対する受入れと乗船客に対する受入れの両方が充実することが重要である。松本氏（2016）は近年、舞鶴港の活発なクルーズ船の誘致に関して、京都府の港湾管理者が大型クルーズ船の対応への役割を検証した。一方、瀬水氏・花田氏（2015）は一度に数千人のクルーズ旅客が寄港地に上陸することにより、集客効果や売上増加効果と言ったメリットがあり、外国人との文化の違いによるトラブルというデメリットも存在し、商業施設や観光地の周辺住民には、特に大きく、施設自体への評価が下がることにつながる危険性があると示唆している。

④研究課題意識

2016年8月から10月にかけて、舞鶴市クルーズ観光の実態を把握するため、クルーズ旅客を対象にし、本学のクルーズ調査チームによるアンケート調査を実施し、クルーズ旅客の観光行動や消費動向などを明らかにした。調査結果の中から、「訪問地別の平均滞在時間（図表3）」と「訪問地別の平均満足度（図表4）」に着目し、舞鶴市内訪問地において、西舞鶴商店街での平均滞在時間が比較的長いものの、西舞鶴商店街に対する平均満足度が一番低いと確認できる。西舞鶴商店街への評価は直接、舞鶴市全体的印象に影響する恐れがあると考えられる。

図表3.市内訪問地別の平均滞在時間 ※単位：分

	市内訪問地	第1回(n=92)	第2回(n=151)	平均値
1	とれとれセンター	44.20	47.8	46.44
2	西舞鶴寺社閣エリア	39.00	36.6	37.51
3	西舞鶴商店街	31.30	43.8	39.07
4	田辺城	30.00	23.3	25.84
5	五老スカイタワー	22.50	24.4	23.68
6	海軍記念館	30.00	18.2	22.67
7	赤レンガパーク	41.70	47.9	45.55
8	東舞鶴商店街	10.00	25	19.32
9	引揚記念館	38.00	51.1	46.14

図表4. 市内訪問地別の平均満足度

	市内訪問地	第1回(n=100)	第2回(n=151)	平均値
1	とれとれセンター	3.8	3.38	3.55
2	西舞鶴寺社閣エリア	4	3.54	3.72
3	西舞鶴商店街	3.11	2.53	2.76
4	田辺城	4	3.69	3.81
5	五老スカイタワー	4	3.83	3.90
6	海軍記念館	4.33	3.75	3.98
7	赤レンガパーク	3.8	3.52	3.63
8	東舞鶴商店街	3	2.8	2.88
9	引揚記念館	3.5	4.13	3.88

西舞鶴四つの商店街（図1）はJR西舞鶴駅、丹後鉄道西舞鶴駅と隣接し、舞鶴港より近い距離にあり、市内中心観光を選択するクルーズ旅客の往来しやすいところである。商店街がクルーズ寄港による経済効果を獲得しやすい地理的優位性を持ちながら、観光客の増加による観光公害を受けやすいと考えられる。クルーズの寄港をきっかけに、商店街の振興を目指している行政や商店街組合及び商店主の期待を重視する一方、商店街周辺住民の意思（商店街及びクルーズ旅客に対する）を確認すべきである。地域住民のクルーズ旅客への受容態度、及び住民意識の形成に影響を与える要因を明確にすることが今後の受入側の体制づくりの礎となると考えられる。



図1 西舞鶴市四つの商店街の位置

2. 研究の目的

本研究はクルーズ寄港による観光客の増加を背景となる西舞鶴四つの商店街の周辺住民の意識を把握し、住民意識の形成に影響を与える要因を分析する。意識形成の規定要因を解明することを通じて、望ましい受入体制の構築に助言することを目的とする。住民意識を考慮する上での受入体制づくりに繋げているため、本研究はクルーズ船の誘致、受入活動の推進、商店街振興などにおいて、基礎的な研究に位置づけ、重要な意義を持つと考える。

3. 調査の結果

(1)調査概要

- ・調査時期：平成 30 年 2 月 28 日から 3 月 11 日まで
- ・調査対象：新世界商店街、マナイ商店街、中央商店街、平野商店街周辺エリア住民
 全世帯配布地域：北田辺・職人・平野屋・丹波・本・竹屋・寺内・松陰・宮津口・西・新・堀上・引土新・朝代・京口・引土・円満寺
 一部世帯配布地域：南田辺・喜多・中筋・紺屋・伊佐津
 回答総数：632 票。回収率：14%。
 回答者属性：性別 男 288 人 (45.6%)、女 314 人 (49.7%)、
 無回答 30 人 (4.7%)

※本研究は全世帯配布地域の回答者のデータに基づいて分析する。

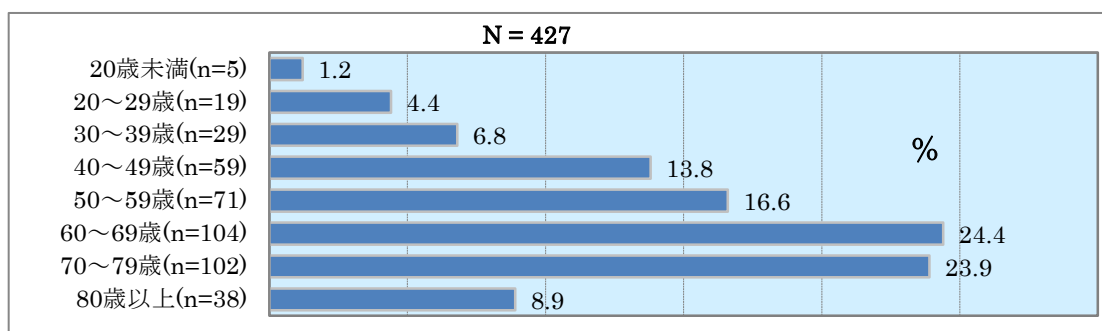
全世帯配布地域の人口（基準日：2017 年 4 月 1 日）は 2059 人であり、20 歳以上の調査対象人口は 1866 人である。全世帯配布地域の回答者数が 428 人で、本調査において、全世帯配布地域の 23%の住民の回答を得られた。

- ・調査方法：郵送により対象者に調査票を配布し、記入を依頼、記入済調査票は返信用封筒により返送された。
- ・調査内容：商店街の利用頻度、商店街の現状及び課題に対する認知、外国人との接触経験、異文化受容意識、幸福度、クルーズ寄港による観光が地域に及ぼす効果や影響、商店街における外国人観光客増加の住民歓迎度合、外国人観光客に対してどのような考え方をしているのか等。

(2)回答住民の属性

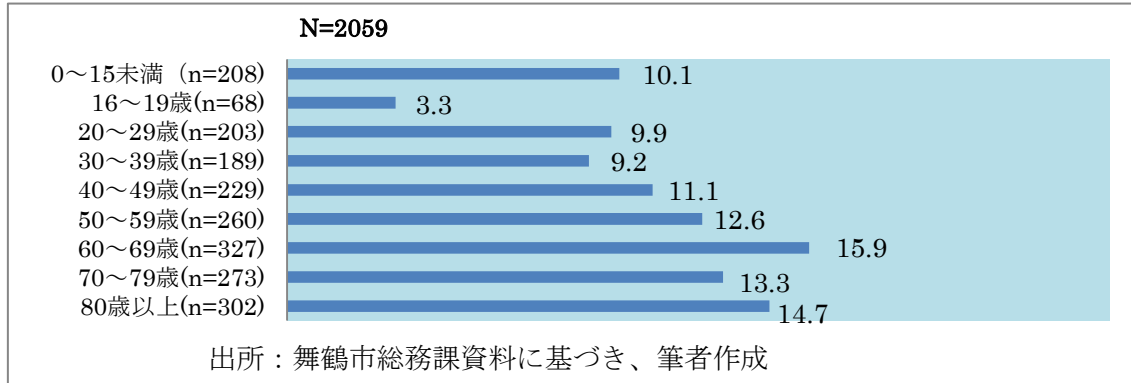
①年齢 本調査の回答者の人数を年齢別に見ると、60 歳以上の回答者は 5 割以上占めている。（図表 5 参照）

図表 5.年齢別回答者割合 16 歳以上



分析の対象となる地区の人口構成（図表6）より、60歳以上の住民の割合は5割近くなり、西舞鶴商店街周辺地域も高齢化の課題に直面していると推測される。商店街振興などによる居住人口の増加が急務だと考えられる。

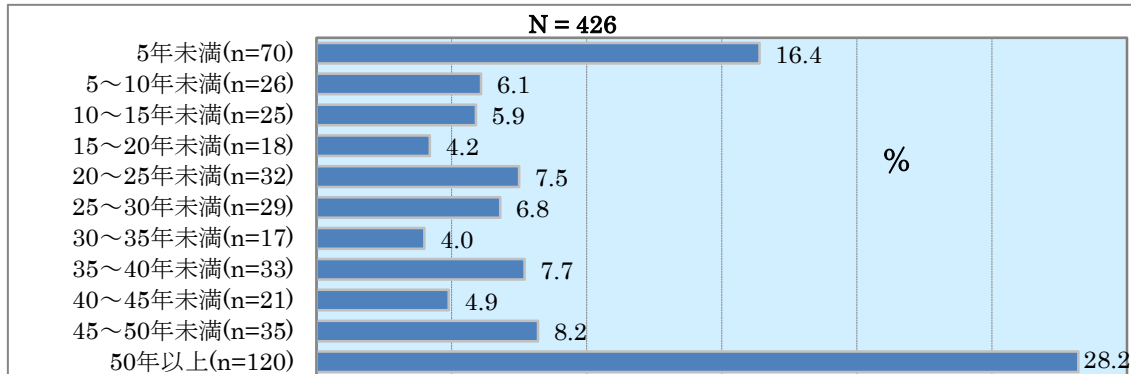
図表6.分析対象地区の年齢別人口構成 2017年4月



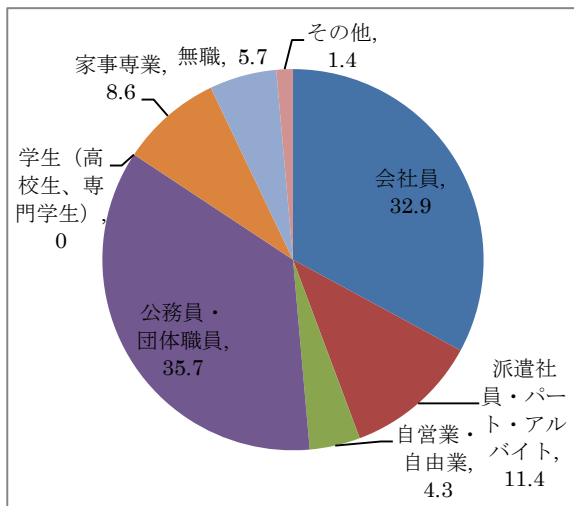
②居住年数および職業

回答者数を居住年数別にみると、約28%の住民は50年以上、約16%の住民は5年未満、西舞鶴商店街周辺地域に居住している（図表7参照）。さらに、5年間未満の住民を職業別（図表10）にみれば、公務員・団体職員と会社員の割合が高く、仕事上の人事異動だと考えられる。50年以上の住民を職業別にみれば、43%の住民は無職で、定年退職だと考えられる。（図表8、9参照）

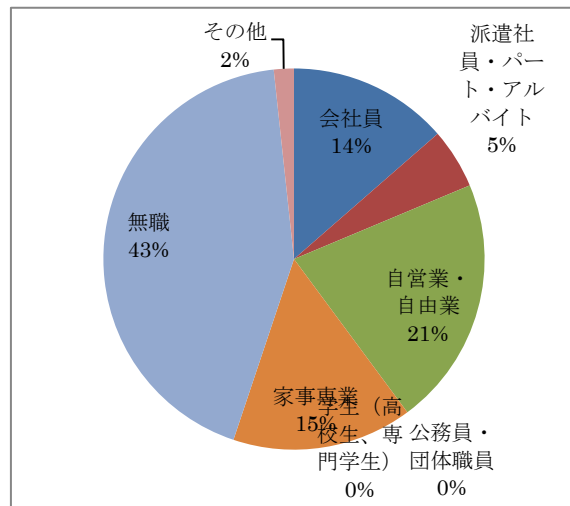
（図表7参照）表7. 居住年数別回答者の割合



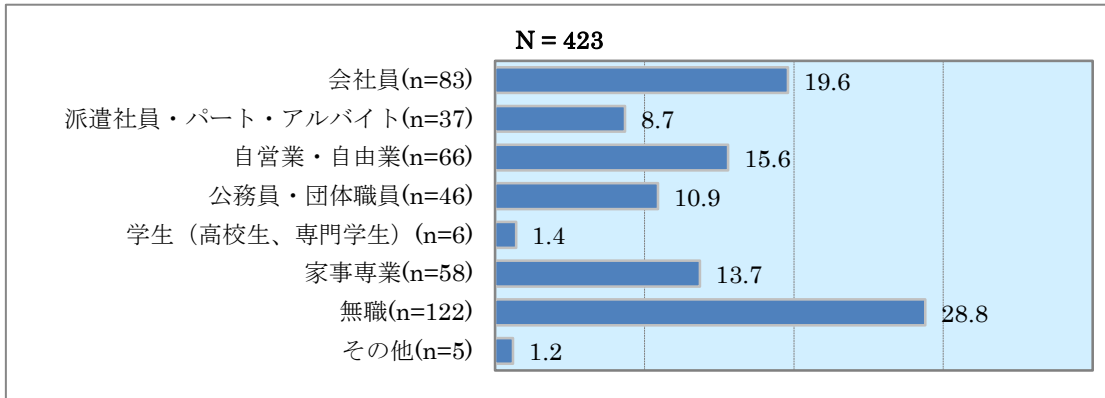
図表8.5年未満居住×職業別



図表9.50年以上居住×職業別



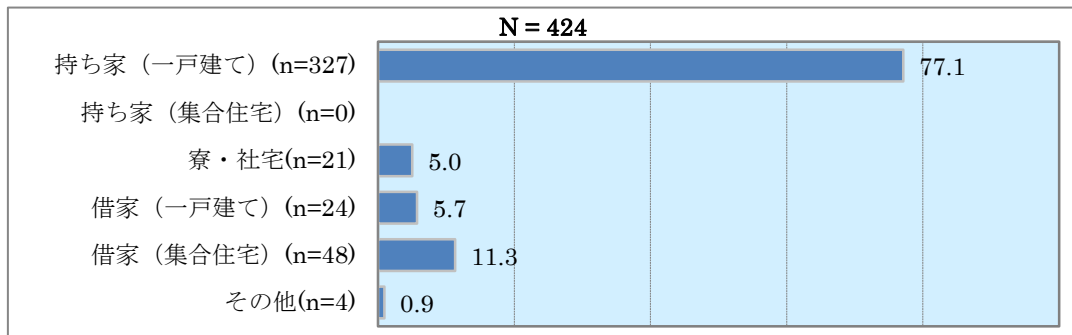
図表 1 0 .職業別の回答者の割合



③住宅種類

図表 1 1 から、圧倒的に持ち家 (一戸建て) の回答者の割合が高いことがわかる。更に、この 77% の回答者を職業別、居住年数別にみると、回答者全体の 30% は無職で 30 年間以上、居住していることがわかる (図表 1 2)。

図表 1 1 . 住宅種類別回答者の割合

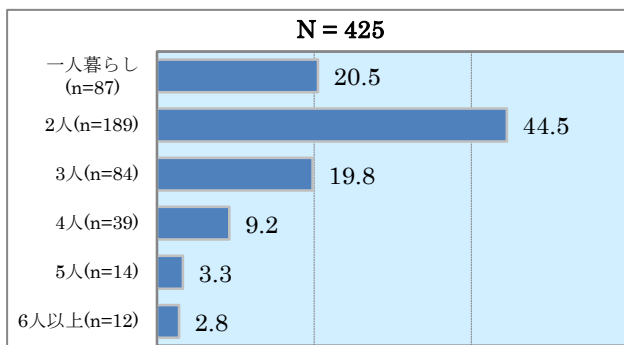


図表 1 2 . 持ち家 (一戸建て) 職業×居住年数

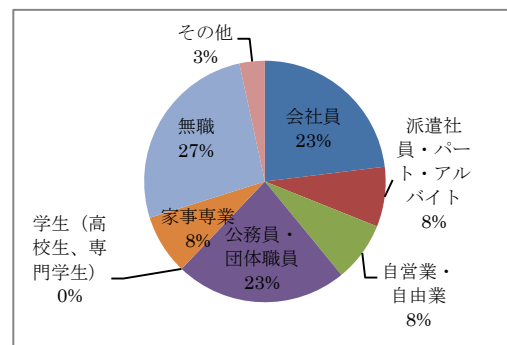
上段:度数	下段:%	居住年数											
		合計	5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20~25年未満	25~30年未満	30~35年未満	35~40年未満	40~45年未満	45~50年未満	50年以上
全体	324	16 4.9	10 3.1	15 4.6	13 4.0	30 9.3	27 8.3	17 5.2	32 9.9	18 5.6	33 10.2	113 34.9	
無職	33.3	2 0.6	2 0.6	3 0.9	-	4 1.2	5 1.5	7 2.2	17 5.2	6 1.9	12 3.7	50 15.4	

④同居人数

図表13.回答者の同居状況



図表14. 独居回答者の職業別割合



図表 13 から独居、二人暮らしの回答者は大きく占めていることがわかる。独居回答者を職業別に分析すると、独居の無職住民、公務員・団体職員、会社員が多く住んでいることがわかる（図表 14 参照）。

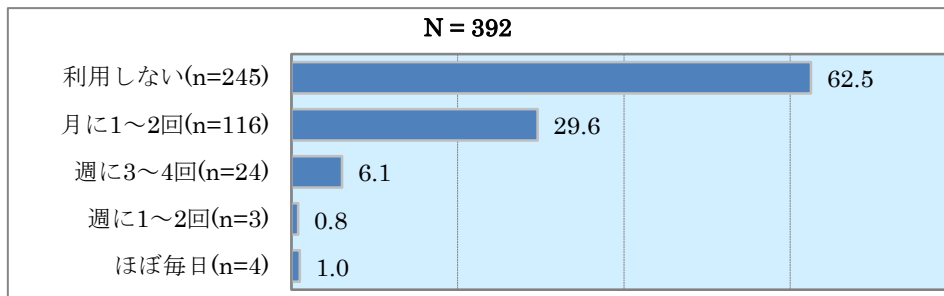
以上の回答者の属性から、西舞鶴商店街周辺地域の人口構造の特徴を以下のようにまとめることができる。

- 西舞鶴商店街周辺地域も高齢化の課題に直面している。
- 独居老人や二人暮らしの年配者、一人暮らしの会社員及び公務員の住民が多く居住している。
- 20 歳以下の若者・子どもが少ない。
- 30 年以上、持ち家（一戸建て）で多くの定年退職住民が居住している。

(3)商店街への利用現状

①商店街利用 飲食店（商店街内）

図表15. 回答者による商店街内飲食店の利用現状

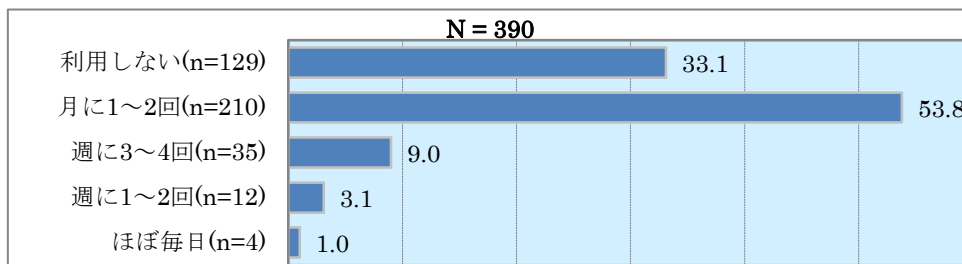


月に1~2回	上段:度数	年齢								
	下段:%	合計	16歳~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
	全体	115	0	11	7	20	17	20	30	10
		100.0	0	9.6	6.1	17.4	14.8	17.4	26.1	8.7

図表 15 から、回答者の 62.5% が商店街内の飲食店を利用していないことがわかる。更に、「月に 1 ~ 2 回」の利用頻度の回答者の属性を見ると、主に 40 歳以上の住民が商店街内の飲食店を利用していることがわかる。

②商店街利用 飲食店（商店街以外）

図表16. 回答者による商店街以外飲食店の利用現状

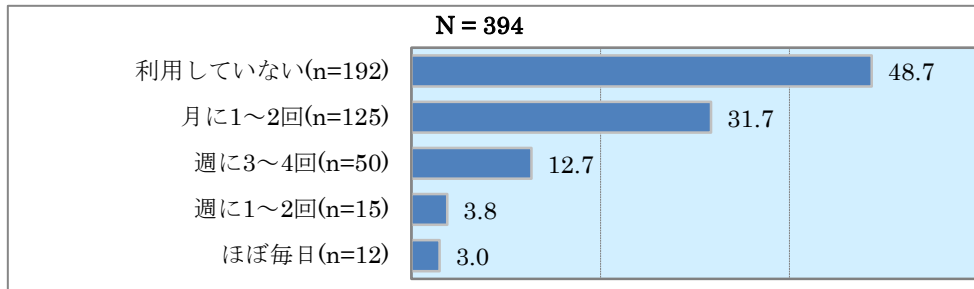


図表 16 から「月に 1 ~ 2 回」の飲食店利用に関して、商店街外飲食店への利用は商店街内の飲食店への利用より、はるかに多いと確認できる。商店街周辺住民は飲食店への利用

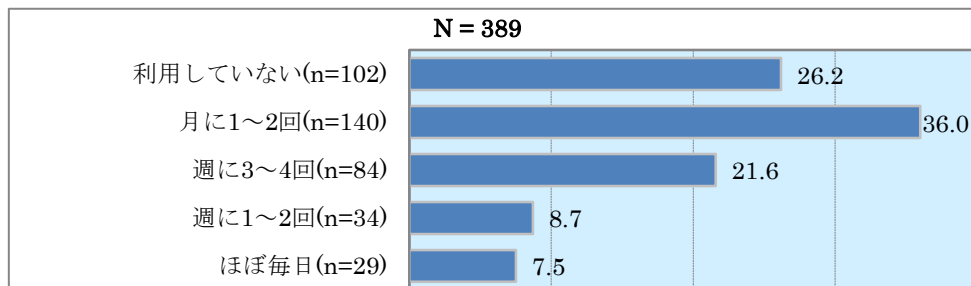
に対して、消極的ではなく、商店街外の飲食店の種類、数などが商店街内の飲食店より良いからだと推測する。今後、商店街内の飲食店は多種類メニュー、低価格化等の実施を通じて、集客効果を目指す必要があるだろう。

③商店街の利用 販売店（商店街内）

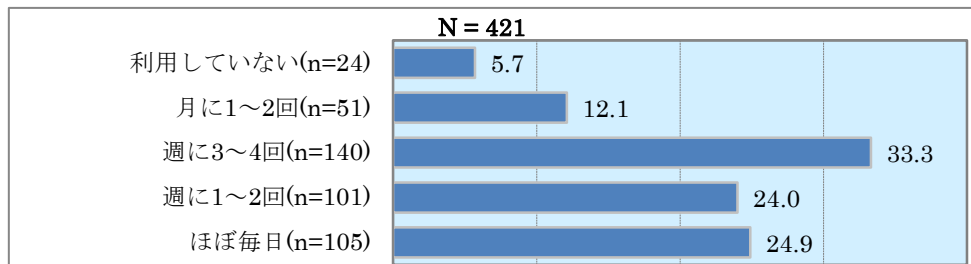
図表17. 回答者による商店街内外販売店の利用
商店街内販売店



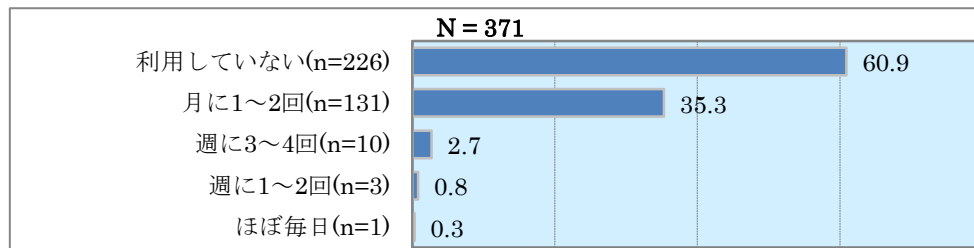
コンビニ



スーパー



インターネット・通販

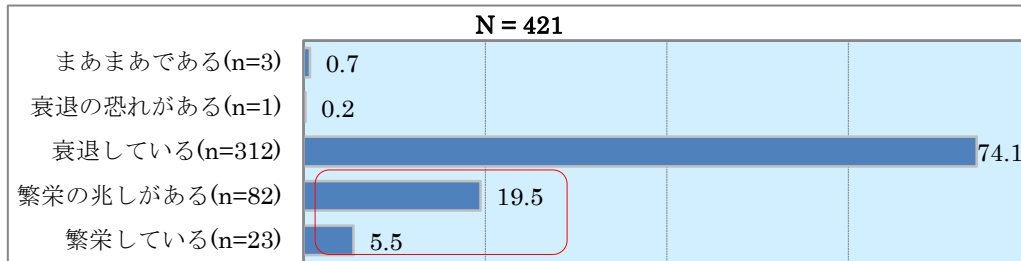


以上の回答者による商店街内販売店、コンビニ、スーパー、インターネット・通販の利用に関する図表から、西舞鶴商店街周辺住民は主にコンビニ、スーパーを利用し、商店街内販売店、インターネット・通販への利用が比較的少ないとみられる。

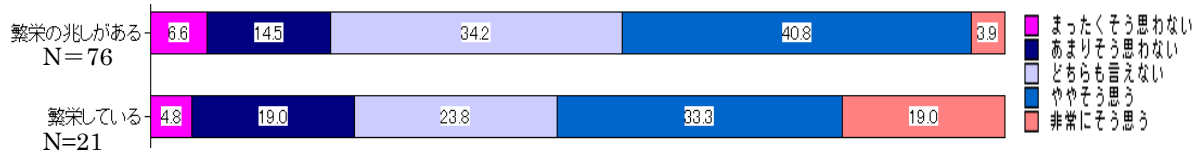
(4)商店街現状に対する認知と課題

商店街近況への認識

図表18.西舞鶴商店街の近況に対する認識

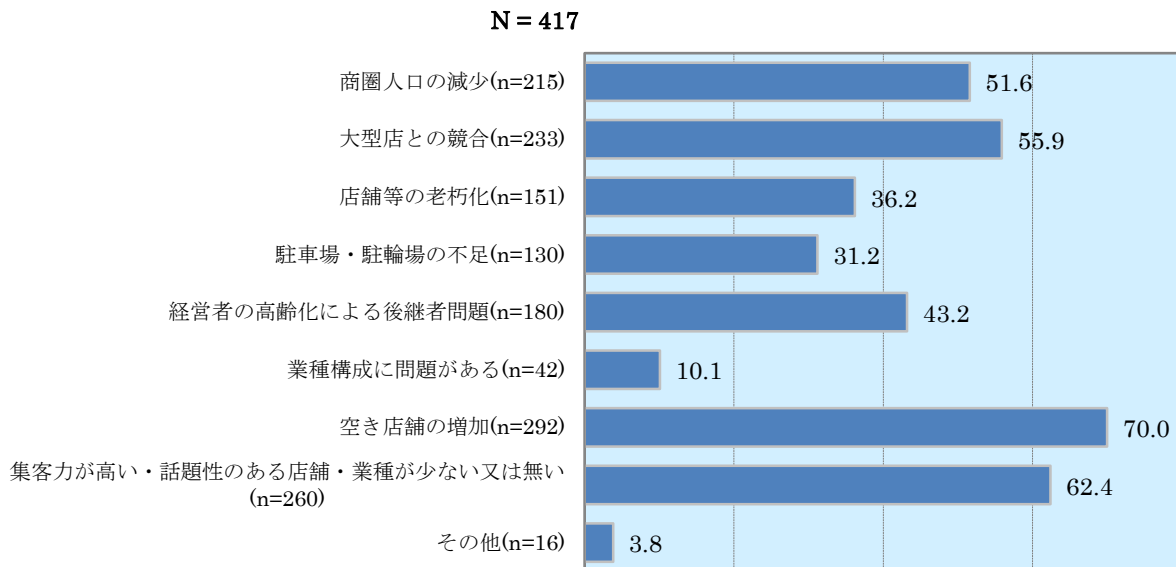


Q クルーズ寄港による観光は商店街に新たなビジネスチャンスを引き起こせる



商店街課題への認識

図表19. 商店街課題への認識



西舞鶴商店街の現状に対して、74%の回答者は「衰退している」と認識していることがわかる。商店街が現在抱えている課題について、商店街周辺住民の視点から、「空き店舗の増加、集客力の高い・話題性のある店舗・業種が少ない」が一番深刻で、商店街内部から店の性質に対する認識である。次に、「商圏人口の減少、大型店との競合」との課題であり、商店街の外部からの脅威に対する認識であると考えられる。一方、約25%以上の回答者は商店街の現状に対して、「繁栄している、繁栄の兆しがある」と認識している。「クルーズ寄港による観光は商店街に新たなビジネスチャンスを引き起こせる」との項目と合わせて見れば、クルーズ旅客による商店街の利用が「繁栄している・繁栄の兆しがある」との認識の理由だと考えられる。

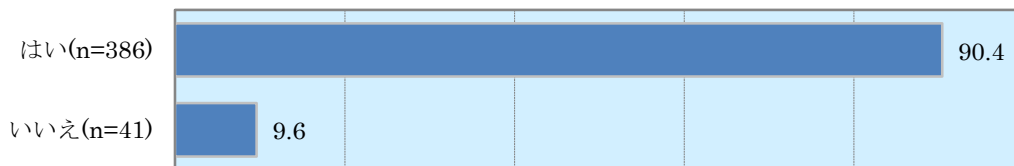
以上、西舞鶴商店街の利用現状、商店街の現状及び課題認識への回答から以下の点をまとめることができる。

- 商店街周辺住民が西舞鶴商店街内の飲食店、販売店への利用頻度が低い。
- 商店街以外の飲食店、コンビニ、スーパーの利用者が多い。
- 西舞鶴商店街の現状に対して、数多くの住民は「衰退している」と認識している。
- クルーズ寄港のため、約 25%以上の回答者は商店街の現状に対して、「繁栄している、繁栄の兆しがある」と認識している
- 商店街周辺住民の視点から、商店街の内部課題は「空き店舗の増加」、「集客力の高い・話題性のある店舗・業種が少ない」、「経営者の高齢化による後継者不足」で外部課題は「商圈人口の減少」、「大型店の競合」である。

(5)クルーズ寄港に対する認知及びイベント参加状況

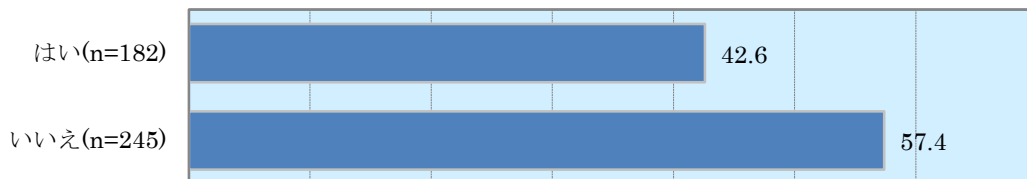
図表20. クルーズ寄港に対する認知及び商店街イベントへの参加

Q.舞鶴港のクルーズ寄港数が増加していることを知っていますか。 N = 427



Q.西舞鶴商店街でのイベント活動に参加したことがありますか。 N = 427

「こうちゃった100円商店街」、「クルーズキチャッタマルシェ」など。



2013年からクルーズの寄港が増加するようになり、それに対して、地域住民の認知度が高いが、まだ約10%の回答者に知られていないことがわかる。クルーズ寄港を商店街周辺地域に浸透しておらず、今後、周知するように、更に宣伝が必要であろう。

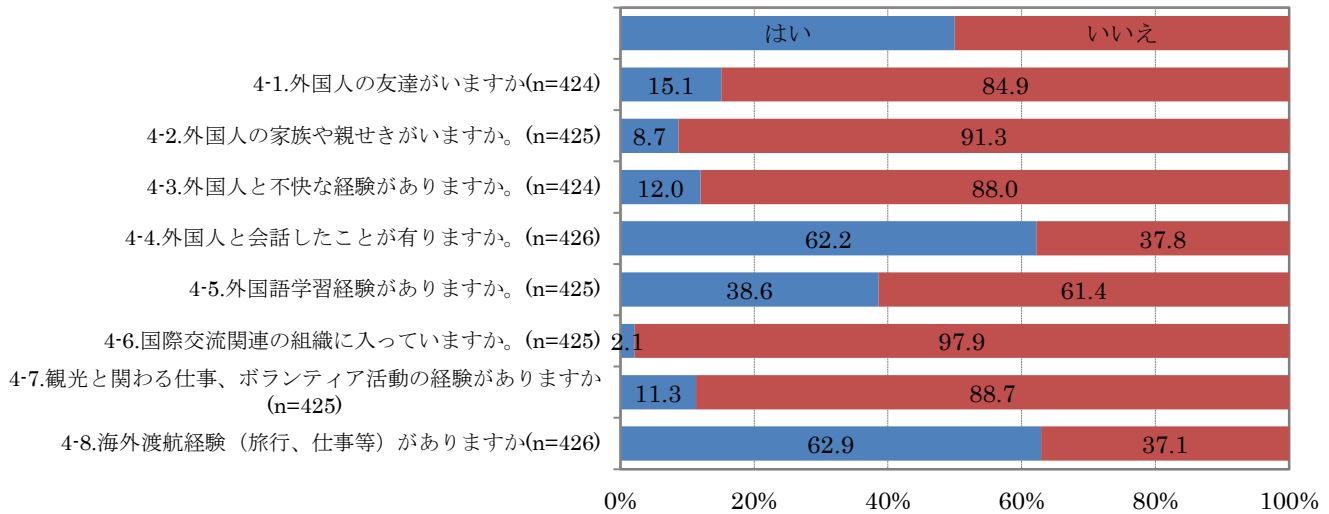
西舞鶴商店街で開催するイベントへの参加経験から、約57%の回答者が「参加したことがない」との回答から、更に商店街に興味を持ってもらうよう、周辺住民に対するアプローチが必要であろう。

(6)異文化接触経験と受容意識 (図表 2 1、 2 2 参照)

図表 2 1 の 4-1~4-8 項目は異文化接触経験を把握するための項目である。「外国人との会話経験」、「外国語の学習経験」、「海外渡航経験」の割合が高い数値である一方、「外国人友人の有無」、「外国人親戚の有無」、「国際交流関連組織への加入」の割合が低いことから、普段から、商店街周辺住民の外国人・外国文化との接触機会が少ないと考えられる。

一部の回答者は外国人と何かのトラブルで不快な経験を持っている。また、観光と関わる仕事の経験、またはボランティア活動の経験の有無が、異文化受容意識につながると予測する。

図表21. 異文化接触経験の度数分布



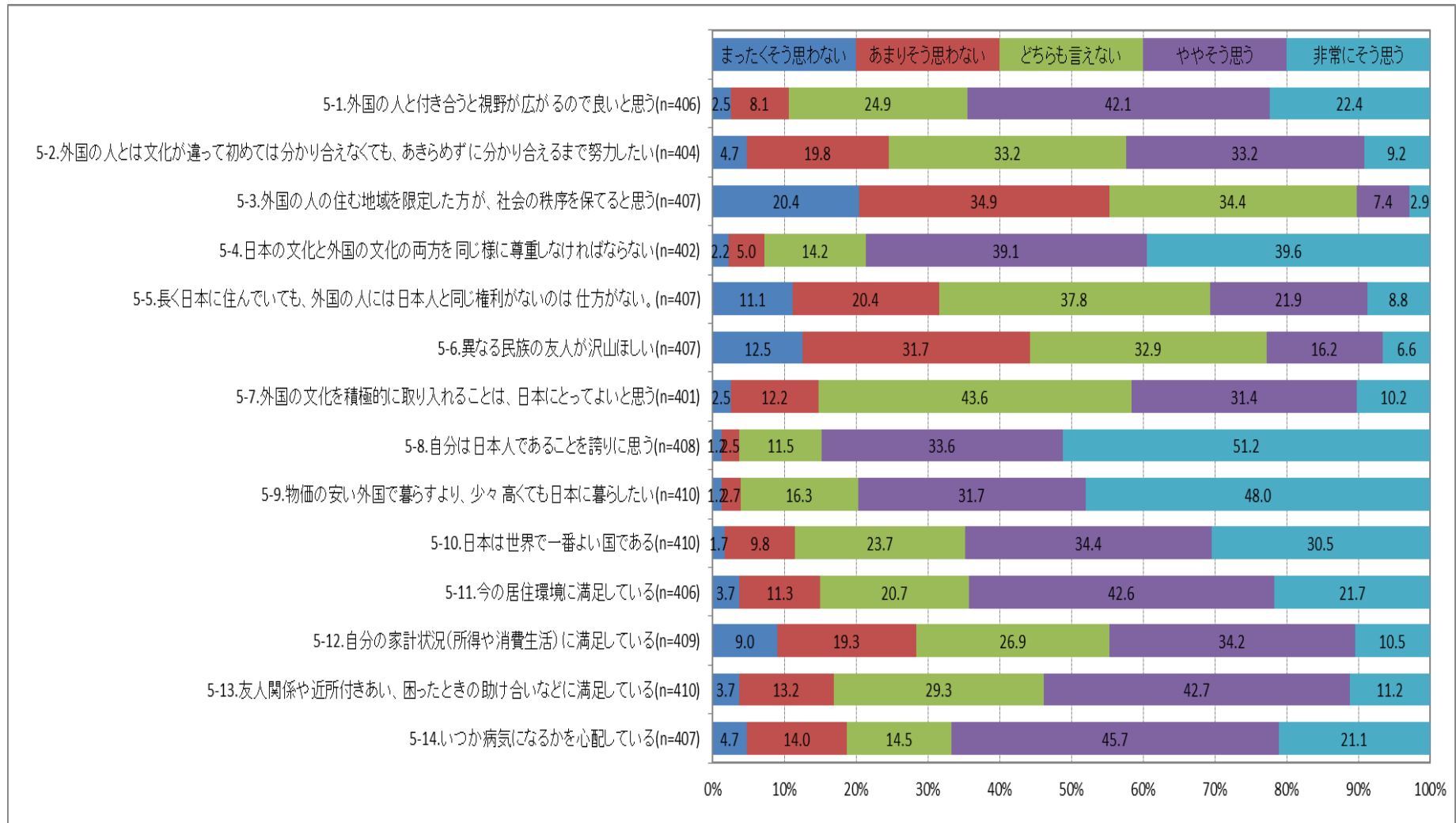
図表 2 2 の 5-1~5-10 の項目は回答者の異文化受容態度を測る項目である。多くの回答者は「外国人と付合うと視野が広がるのでよいと思う」、「外国人とは文化が違って初めては分かり合えなくても、あきらめず分かり合えるまで努力したい」と選択したことから、回答者の異文化受容意識が高いと考えられる。また、5-8~5-10 の項目は、回答者の愛国意識を測る項目であり、「自分は日本人であることを誇りに思う」、「外国より日本に住みたい」、「日本は世界で一番良い国である」と思う回答者数は極めて多いため、回答者の愛国意識が回答者の異文化受容態度に影響を与えていると推測できる。

(7) 居住環境に対する評価、幸福度

図表 2 2 の 5-11~5-14 の項目は回答者、居住環境に対する評価を測る項目である。現在の居住環境に満足していると思う回答者の割合は約 64%であることに對して、15%の回答者は満足していないと思っていることがわかる。更に、家計状況に対して、満足していない回答者の割合は 30%に近くになっている。友人関係や近所付き合いに満足している回答者は半分以上を占めているが、約 17%の回答者はそれに不満だと認識している。また、本調査の回答者には、年配者が多く存在している。健康状態に対する不安が見える。

今回の調査では、回答者が現在の生活に対する満足度を測るために、幸福度を点数で聞く項目を設け、回答者 (N=404) の平均幸福度は 6.8 である。

図表 2 2.異文化受容意識及び生活現状への評価に関する度数分布



(8) クルーズ寄港の効果と影響に対する意識

クルーズ誘致関係者はクルーズ寄港による経済波及効果を重視して、クルーズ誘致活動に取り込んでいる。しかし、図表 2 4 から、「クルーズ寄港による観光は商店街に重要な経済的役割を果し続ける」と思っている回答者の割合は、約 33%しか無い。また、「観光産業は住民の中の少数の人だけが経済的利益を得るだけである」と認識している回答者は 50%近くに達している。更に、「交通渋滞、騒音や雰囲気の破壊などにより、生活環境が悪化する」と思っていない回答者は約 40%である。

「クルーズ寄港による観光は自分の生活水準を改善される」と思っていない回答者数は約 57%であり、「観光客が路上や施設内で思慮のない振舞をし、自分の生活の穏やかさを壊している」と思っていない回答者数は約 55%に達している。

以上のことから、クルーズ寄港による観光の経済的効果、社会的影響が西舞鶴商店街周辺地域にまだ表れていないことがわかる。

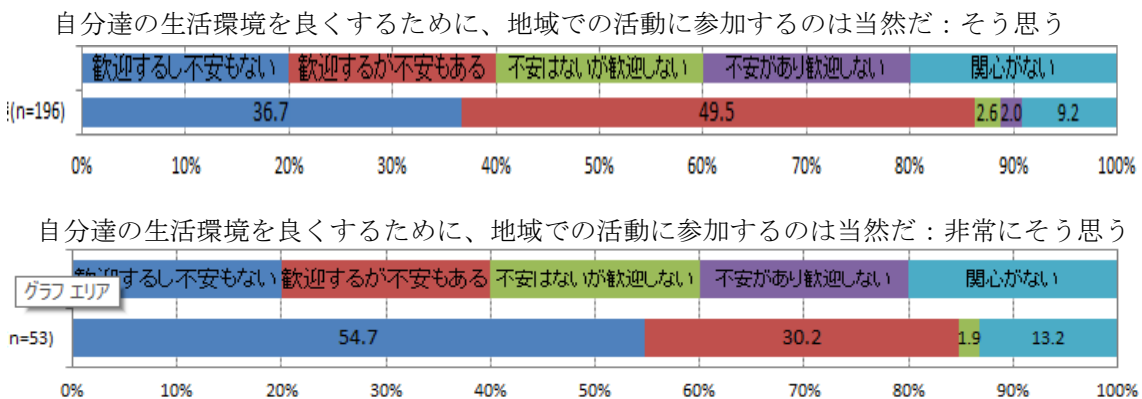
「クルーズ寄港による観光は商店街に新たなビジネスチャンスを引き起こせる」と思っている回答者数は約 40%である。ここから、商店街周辺地域住民がクルーズ寄港による経済的効果をまだ感じていないが、クルーズ寄港による観光を通じて、商店街の振興を期待していると考えられる。

(9) 地域コミュニティに対する意識

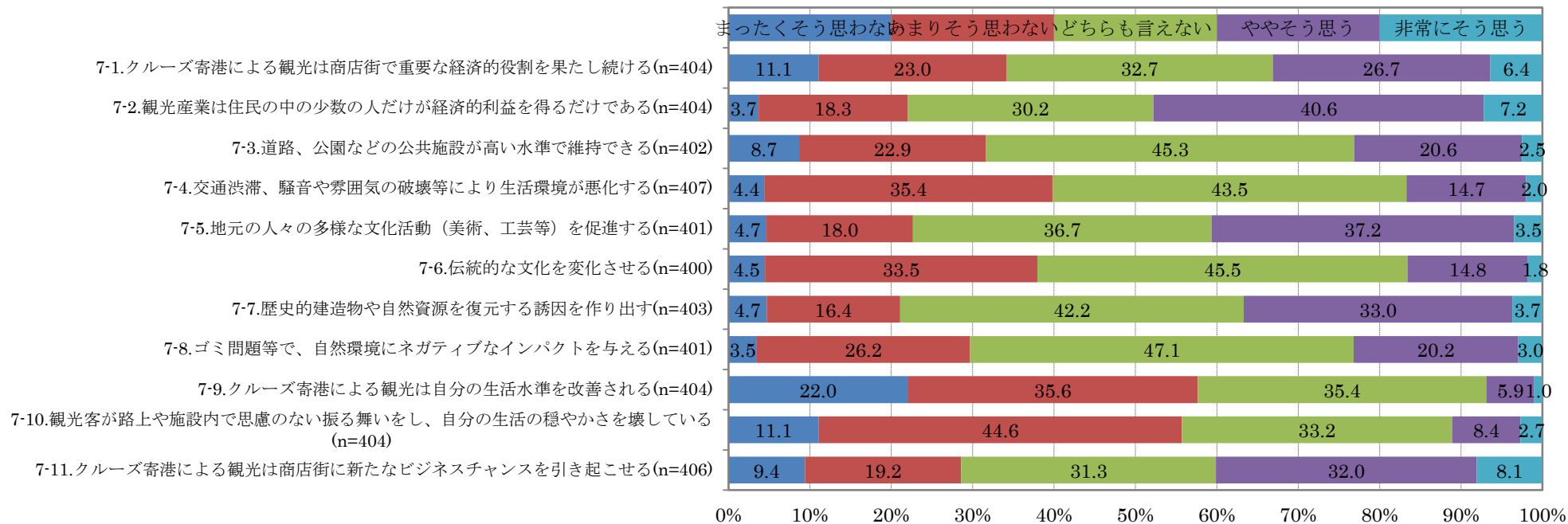
図表 2 5 から、四つの項目、「自分達の生活環境を良くするために、地域での活動に参加するのは当然だ」、「地元の行事や祭りには積極的に参加したい」、「地域活動に参加して、様々な世帯や職業の人と交流したい」、「地域の人は助け合うのが大切である」に対して、「そう思う」と「非常にそう思う」と回答した住民の割合は双方、50%以上超えている。多くの住民が自分の地域を良くしてほしいと考え、地域コミュニティに対する積極性が高いと考えられる。

商店街外国人観光客の歓迎意識と合わせてみれば、外国人観光客に対する歓迎意識が地域コミュニティへの認識と関連し、地域コミュニティに対する積極性が高いほど、外国人観光客の来訪に対して、歓迎する。

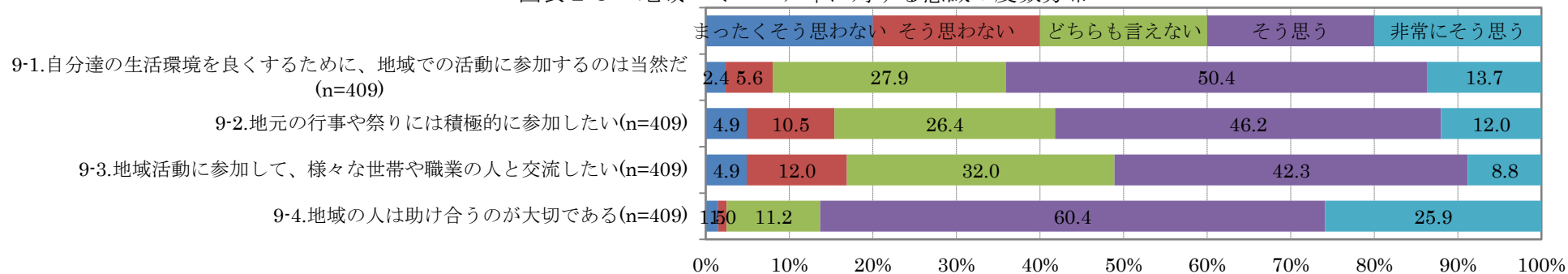
図表 2 3 外国人観光客に対する歓迎意識×地域コミュニティ



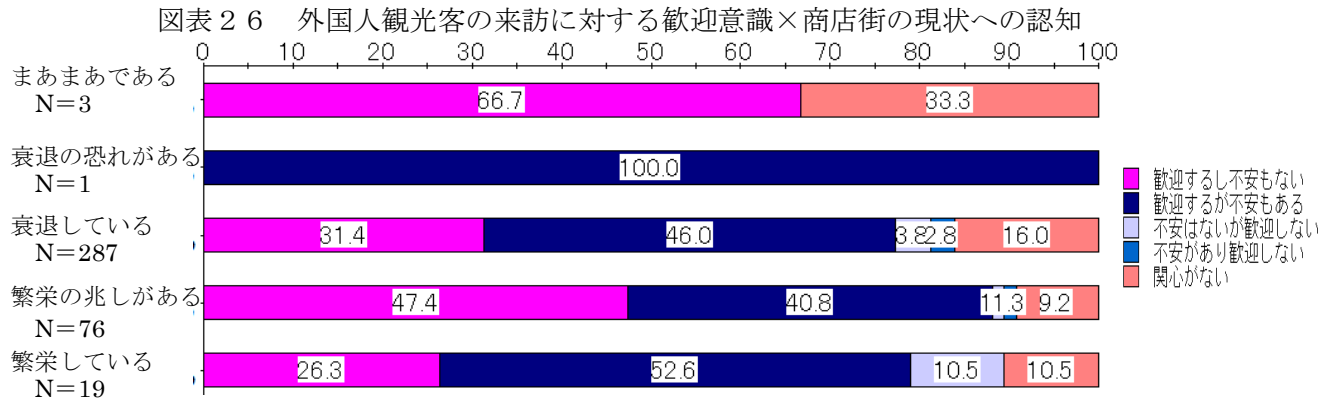
図表 2 4 クルーズ寄港の効果と影響に対する意識の度数分布



図表 2 5 地域コミュニティに対する意識の度数分布



(10) 外国人観光客に対する歓迎意識



図表 2 6 から、外国人観光客の来訪に対する歓迎意識として、70%以上の回答者が「歓迎する」で、45%の回答者は「歓迎するが不安がある」と表明した。商店街の現状への認知の項目と合わせてみれば、多くの回答者は外国人観光客の増加が商店街の振興につながるように期待していると予測する。

4. 研究成果と今後の課題

本調査は、舞鶴港クルーズ寄港をきっかけに、西舞鶴商店街周辺地域住民意識（①商店街に対する。②クルーズ寄港による観光効果）を把握するために、アンケート調査を実施し、西舞鶴商店街周辺地域住民の意識および、住民意識の形成に影響を与える要因を明らかにしたものである。調査による主な成果として下記の通りである。

第一に、西舞鶴商店街周辺地域住民の属性及び商店街の利用頻度を明らかにした。西舞鶴商店街内の飲食店、販売店に対して、商店街周辺地域住民による利用が少なく、商店街周辺住民の視点から、西舞鶴商店街の内的課題としては、「空き店舗の増加」、「集客力の高い・話題性のある店舗業種が少ない」、「経営者の高齢化による後継者不足」が挙げられる。今後、周辺住民による商店街の利用を増やすために、商店街は「集客力の高い・話題性のある新規事業或いは店舗の誘致」への挑戦が必要になると考えられる。

第二に、西舞鶴商店街の現状に対して、周辺住民の意識を把握することができた。70%以上の住民は「商店街が衰退している」と認識しているが、クルーズ寄港を転機にし、約25%以上の回答者は商店街の現状に対して、「繁栄している、繁栄の兆しがある」と認識している。

第三に、商店街周辺地域住民の異文化受容意識を把握できた。回答項目への考察から、異文化接触経験が少ないが、異文化受容意識が高いと判断できる。更に、地域住民の愛国意識が高いことから、異文化への受容に影響を与える可能性があると考えられる。

第四に、商店街周辺地域住民が半数以上、現在の居住環境、家計、友人関係、近所付き合いに対して、評価し満足しているが、多くの年配者は健康状態に対する不安を持っている。平均幸福度が 6.8 であることを把握できた（満点 10 点）。

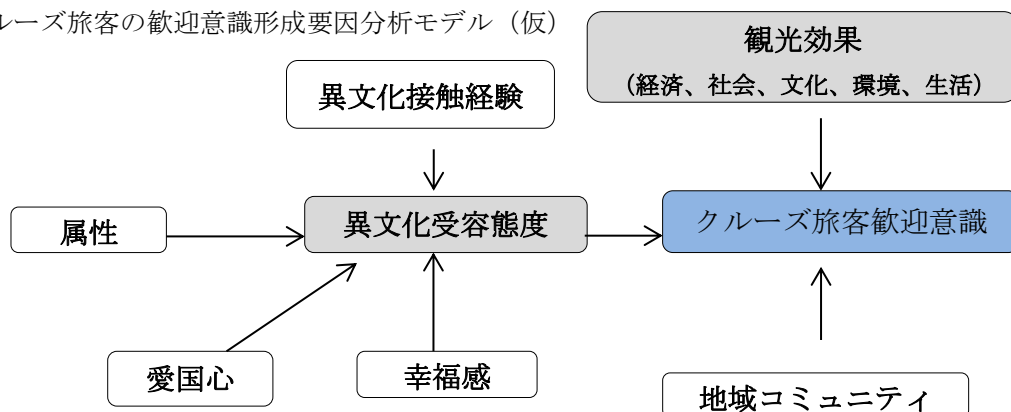
第五に、クルーズ寄港によるインパクトに対する意識が確認できた。クルーズ寄港による観光の経済的効果、社会的影響が西舞鶴商店街周辺地域にまだ表れていないことがわかった。しかし、「クルーズ寄港による観光は商店街に新たなビジネスチャンスを引き起こせる」と思っている回答者数は約 40%である。ここから、商店街周辺地域住民がクルーズ寄港による経済的効果をまだ感じていないが、クルーズ寄港による観光を通じて、商店街の振興を期待していると考えられる

第六に、西舞鶴商店街周辺地域住民は地域コミュニティに対する積極性が高い。外国人観光客に対する歓迎意識が地域コミュニティへの認識と関連し、「地域コミュニティに対する積極性が高いほど、外国人観光客の来訪に対して、歓迎する」と推測する。

第七に、外国人観光客への歓迎意識を確認できた。商店街周辺地域住民は「外国人観光客来訪を歓迎し、クルーズ旅客の受入による商店街の振興を繋げてほしい」と期待している。

今後の課題として、本調査で得られた住民のデータを更に分析し、クルーズ旅客歓迎意識形成要因分析モデル（仮）を構築することを目指したい。論文投稿を準備すると共に、継続にクルーズ寄港による商店街周辺地域住民の活動などに注目し続けたいと考える。

クルーズ旅客の歓迎意識形成要因分析モデル（仮）



謝辞

本調査の実施にあたり、多大なる協力を頂いた舞鶴市観光商業課ならびにみなと振興・国際交流課、及び西舞鶴商店街周辺地域住民の皆様へ記して深謝を申し上げます。

5. 参考文献

1. 「2016 年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港実績（速報値）」国土交通省港湾局産業港湾課 2017. 1. 17
2. 舞鶴市ホームページ <https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kankou/> 2018/03/07
3. 「北のミサイル影響か クルーズ船寄港が来年度半減に…京都・舞鶴港」産経新聞社 2017. 9. 23
4. 「舞鶴シティマネジメント最終報告書（案）」資料 平成 27 年 3 月
5. 「7つの重点事業（3カ年計画）」DVD 報告書 西舞鶴 4 商店街広報室 平成 26 年度
6. 松本 義明「外航クルーズ振興における港湾管理者の役割について ～京都舞鶴港におけるクルーズ船誘致～」京都府 中丹広域振興局建設部、中丹西土木事務所 平成 28 年度近畿地方整備局研究発表会 論文集
7. 瀬水 幸治・花田 祥一「沖縄におけるクルーズ振興とその効果」沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課 2016 年
8. 「舞鶴市に寄港するクルーズ船観光客の回遊状況及び消費動向の推定—クルーズ船受入機能の強化とインバウンド観光の推進に向けて」平成 28 年度福知山公立大学研究活性化助成金採択課題研究報告書

補足資料

5. 以下の項目について、ご自身に当てはまる方に○を付けて御答えて下さい

項目 (各項目につき、○は一つだけ)	非常に そう思う	やや そう思う	どちらも 言えない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
1. 外国の人と付き合うと視野が広がるので良いと思う	5	4	3	2	1
2. 外国の人とは文化が違って初めは分かり合えなくても、あきらめずに分かり合えるまで努力したい	5	4	3	2	1
3. 外国の人の住む地域を限定した方が、社会の秩序を保てると思う	5	4	3	2	1
4. 日本の文化と外国の文化の両方を同じ様に尊重しなければならない	5	4	3	2	1
5. 長く日本に住んでいても、外国の人には日本人と同じ権利がないのは仕方がない。	5	4	3	2	1
6. 異なる民族の友人が沢山ほしい	5	4	3	2	1
7. 外国の文化を積極的に取り入れることは、日本にとってよいと思う	5	4	3	2	1
8. 自分は日本人であることを誇りに思う	5	4	3	2	1
9. 物価の安い外国で暮らすより、多少高くても日本に暮らしたい	5	4	3	2	1
10. 日本は世界で一番よい国である	5	4	3	2	1
11. 今の居住環境に満足している	5	4	3	2	1
12. 自分の家計状況(所得や消費生活)に満足している	5	4	3	2	1
13. 友人関係や近所付き合い、困ったときの助け合いなどに満足している	5	4	3	2	1
14. いつか病気になるのではないかを心配している	5	4	3	2	1

6. 現在、あなたはどの程度幸せですか？

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいだと思いますか

	とても幸せ		←	←		→	→	とても不幸			
点数	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

7. クルーズ寄港による観光の効果及び影響について、以下の項目をどう思いますか。
一番あてはまるものに○をつけてお答えください。

項目 (各項目につき、○は一つだけ)	非常に そう思う	やや そう思う	どちらも 言えない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
1. クルーズ寄港による観光は商店街で重要な経済的役割を果たし続ける	5	4	3	2	1
2. 観光産業は住民の中の少数の人だけが経済的利益を得るだけである	5	4	3	2	1
3. 道路、公園などの公共施設が高い水準で維持できる	5	4	3	2	1
4. 交通渋滞、騒音や雰囲気破壊等により生活環境が悪化する	5	4	3	2	1
5. 地元の人々の多様な文化活動(美術、工芸等)を促進する	5	4	3	2	1
6. 伝統的な文化を変化させる	5	4	3	2	1
7. 歴史的建造物や自然資源を復元する誘因を作り出す	5	4	3	2	1
8. ゴミ問題等で、自然環境にネガティブなインパクトを与えている	5	4	3	2	1
9. クルーズ寄港による観光は自分の生活水準を改善される	5	4	3	2	1
10. 観光客が路上や施設内で思慮のない振る舞いをし、自分の生活の穏やかさを壊している	5	4	3	2	1
11. クルーズ寄港による観光は商店街に新たなビジネスチャンスを引き起こせる	5	4	3	2	1

8. 御宅の周辺の商店街に外国人観光客が来訪することについて、どう思いますか。
一番あてはまるものに○をつけてお答えください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 歓迎するし不安もない | 2. 歓迎するが不安もある |
| 3. 不安はないが歓迎しない | 4. 不安があり歓迎しない |
| 5. 関心がない | |

9. 地域コミュニティについて、ご自身に当てはまる方に○を付けて御答えて下さい

項目 (各項目につき、○は一つだけ)	非常に そう思う	やや そう思う	どちらも 言えない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
1. 自分達の生活環境を良くするために、地域での活動に参加するのは当然だ	5	4	3	2	1
2. 地元の行事や祭りには積極的に参加したい	5	4	3	2	1
3. 地域活動に参加して、様々な世帯や職業の人と交流したい	5	4	3	2	1
4. 地域の人とは助け合うのが大切である	5	4	3	2	1

10. 西舞鶴商店街内に店舗を所有していますか(一番あてはまるものに○をつけてお答えください)

1. 所有していない
2. 所有している → 現状について教えてください。

1. 実施運営している。	2. 廃業し、空き店舗である。
3. 貸している。	4. 借りている

11. 御回答くださったあなたご自身についてお伺いいたします。

あてはまるもの一つに○をお付けください

性別	1. 男	2. 女									
年齢	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上			
お住まいの地区	御記入ください。		記入例								
	(地区)		(南田辺地区)								
居住年数	1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～15年未満	4. 15～20年未満	5. 20～25年未満	6. 25年～30年未満	7. 30～35年未満	8. 35～40年未満	9. 40～45年未満	10. 45～50年未満	11. 50年以上
職業	1. 会社員	2. 派遣社員・パート・アルバイト	3. 自営業・自由業	4. 公務員・団体職員	5. 学生(高校生、専門学生含む)	6. 家事専業	7. 無職	8. その他()			
ご自宅の種類	1. 持ち家(一戸建)	2. 持ち家(集合住宅)	3. 寮/社宅	4. 借家(一戸建)	5. 借家(集合住宅)	6. その他					
同居人数	1. 一人暮らし	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上					

調査内容に関して、御意見など御座いましたら、この欄にご自由に記入してください。

アンケートは以上です。

御協力いただき、誠にありがとうございました。